

令和4年度 経営改革プラン

団体名	一般財団法人神戸市水道サービス公社
-----	-------------------

設立年月日	昭和40年8月13日	
団体の設立目的・沿革	神戸市内における水道の円滑な利用の促進と適正かつ合理的な維持管理を行うために必要な事業を行い、もって神戸市水道事業の合理的な運営と市民福祉の向上に寄与する。	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	期間満了メーター取替事業	水道局配水課
	施設管理事業	水道局施設課・自主事業
	調査・システム管理等事業	水道局配水課・施設課 自主事業
	管工事事業	水道局配水課・施設課 健康局斎園管理課
代表者	理事長 山本 剛司	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	評議員、理事		監事		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		15	15
市派遣職員	1	3	-	-		6	10
市OB職員	1	-	-	-	7		8
その他	-	3	-	2	17	4	26
合 計	2	6	-	2	24	25	59

財務状況 (単位：百万円)	令和2年度	令和元年度	差引
経常収益	△ 1	18	△ 19
当期正味財産増減額	△ 1	20	△ 21
流動資産	435	490	△ 55
流動負債	96	130	△ 34
長期借入金 (固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	267	260	7

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	水道事業の効率化と広域連携を通じた水道技術の継承
ミッション②	水道局からの新たな業務受託を通じ、民間事業者の育成と技術移転を推進

■短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	組織の再構築など自立経営の推進
ミッション②	中長期的なミッションを達成するための体制の確立

■経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人的 バフ ォー ーマ ンス	職員 一人 あたり 純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	0.531	▲ 0.021	-0.6ポイント
	経常費用 人件費比 率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	33.33%	38.04%	4.7ポイント
財政 的バフ ォー ーマ ンス	総資本 経常利益 率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	3.54%	-0.11%	-3.7ポイント
	流動資産 回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	132.09%	113.67%	-18.4ポイント
財政 安定 性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	376.19%	452.06%	75.9ポイント
	自己資本 比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	50.28%	56.08%	5.8ポイント
持 続 性	自己資本当 期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	7.83%	-0.29%	-8.1ポイント
	純資産 増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	7.83%	-0.29%	-8.1ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～			
中長期的ミッション													
水道事業の効率化と広域連携を通じた水道技術の継承	<ul style="list-style-type: none"> 品確法に基づく受託による市水道事業への貢献 他局・他都市業務の受託 他都市業務受託拡大に対応できる人材の確保・育成 									<ul style="list-style-type: none"> 他都市業務受託の拡大・技術継承 			
水道局からの新たな業務受託を通じ、民間事業者の育成と技術移転を推進	<ul style="list-style-type: none"> 水道局の3業務（漏水調査・施設巡回業務・水栓作業補助）の受託 漏水調査の民間事業者の育成及び技術移転の検討（市場化調査） 			<ul style="list-style-type: none"> 漏水調査の一部業務を民間事業者へ技術移転（実務継承） 施設巡回業務・水栓作業補助の民間事業者の育成及び技術移転の検討 			<ul style="list-style-type: none"> 3業務の受託拡大及び一部業務の民間事業者への技術移転の拡大 						
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
短期的ミッション													
組織の再構築など自立経営の推進	他都市ニーズの把握及び業務の受注を目指す						自立経営を前提とした令和5年度予算を編成・組織改正の検討						
中長期的なミッションを達成するための体制の確立	3業務の実施、把握	漏水調査業務における民間の役割分担の検討、指導方法の検討、民間実施の試行						民間公募					
	採用活動・人材確保（令和5年度採用試験）												
	派遣職員や市OB職員のOJT・資格取得などによる固有職員の育成の推進（技術力の強化）												

■ ミッションを踏まえた団体目標

目 標 及 び 実 現 方 法	<p>目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他都市からの業務受託を拡大しつつ自立経営を実現し、令和6年度以降は継続的な黒字経営を目指す。 ・水道局を補完する役割として新たな業務受託を行うとともに、民間事業者の育成と技術移転の推進を目指す。
	<ul style="list-style-type: none"> ・固有職員を係長職へ登用する (R4年度～) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市OB職員の勤務条件を週4日勤務に原則変更し、報酬体系を年俸制から月額報酬制に原則変更する (R4年度～) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現役世代の市派遣職員を順次引き上げ、市OB職員や固有職員に切り替える (R4年度～) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業規模及び受託先の変化に合わせ、組織体制を柔軟に見直す (R4年度～) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の新規採用を継続し、工事監理等の技術的業務を担当できる職員を増やして、受託キャパシティを拡大する (R4年度～) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・固有職員に対し、業務受託のために必要な技術士、土木施工管理技士等の資格の取得を推進する (R4年度～) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・3業務について早期に把握し、民間事業者との役割分担の検討・試験的な技術継承を行い、民間移行を評価する。(R4年度) ・民間事業者の育成により、技術の継承・移転を実現する (R5年度～) ・近隣他都市からの業務受託を拡大し、安定した受注を獲得する (R5年度～) 	

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（1）中長期的ミッションの達成状況

・他都市等からの受託業務を拡大（R3 5件→R4 9件）するとともに、技術職員の新規採用（R4：2名）や職員の資格取得の促進を図り、水道技術の継承に努めた。

・漏水調査、施設巡回業務について民間移行に向けた準備を進めた。

（2）短期的ミッションの達成状況

・県内水道事業ワンストップ相談窓口の設置により他都市の支援を行うとともに、受託事業の拡大につなげた。

・学校訪問、インターシップの実施により技術職員の人材確保に努め、新規職員の採用と育成を図った。

・3業務のうち漏水調査・施設巡回業務については、民間移行に向けた調査・計画の立案等を行っている。

（3）市政への貢献・市民への還元状況

・水道局や他局、周辺他都市の増加する更新需要に対し、公社の技術力を活用し貢献した。

（受託件数：R4 34件）

・水道局から漏水調査・施設巡回の業務を受託し民間の育成と業務移転を進めることで水道事業の効率化に貢献した。

・小規模受水槽の啓発事業等を実施し、市民福祉の向上に貢献した。

■外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

- ・固有職員の係長職への登用や職員の新規採用など、ミッション達成に向けた体制確保を進めている。
- ・水道局からの新たな業務の受託や周辺他都市のニーズ把握・業務の受託拡大に取り組んでいる。
- ・令和4年度に黒字経営に転換したが、一層の経営努力により自立経営を実現できるか見極めたい。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	他都市等の業務の受託を通じた技術継承、水道局3業務（漏水調査・施設巡回・水栓作業補助）の民間への技術移転に向け、引き続き取り組む必要がある。
短期的ミッション	令和4年度中に黒字を達成するとともに、水道局が新たに発注した業務については予定通り受託し、民間への技術移転に向けて取り組んだ。
団体目標	水道局が新たに発注した業務については予定通り受託し、民間への技術移転に向けて取り組んだ。水栓作業補助業務の受託、民間事業者の育成・技術移転に引き続き取り組むこと。
市への貢献・市民への還元状況	水道局からの新たな業務、他局・周辺他都市の業務を積極的に受託し、水道事業の効率化・水道技術の継承に取り組んだ。

(3) 今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体 継続的な見直しを要する団体 取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体